



# MONTHLY TIMES WAKO

和歌山県立和歌山工業高等学校

8月号

## 夏休み子供工作教室を開催 ”金属探知機”製作に子どもたちが挑戦！

8月7日と8日の2日間「第7回夏休み子供工作教室」を本校会議室で開催。本校電気科教諭の指導のもと、近隣の市立雑賀小学校5・6年生20名が2日にわかれて金属探知機の製作に取り組みました。センサーの役目をするコイルを巻き、ハンダ付け作業に挑戦。ほとんどが初めての体験でしたが、全員が完成させることができ、できあがった金属探知機を『夏休みの自由工作にします』と、嬉しそうに話してくれた子どもたちの笑顔がとても印象的でした。



【慣れない手つきで作業をする子どもたち】



## 小型車両系建設機械(機体質量3t未満)講習

8月1日・2日の両日、3年生81名が小型車両系建設機械の学科・実技講習を受講しました。炎天下、生徒たちは熱心に取り組みました。実技ではバックフォーに乗車、事前の説明では緊張の中、生徒たちは真剣に耳を傾け、いざ乗車。最初はぎこちない動きでしたが、すぐに慣れ午後からの実技では、土を掘削するなど上手にできている生徒もみられました。この特別教育を受講すると証明書が発行され、パワーショベル・ブルドーザー・その他の建設機械が運転できることになり、資格取得に向けて受講者数も年々増加する傾向を示しています。

【実技講習で小型特殊車両を運転】

## 高校生防災ボランティアスクールを開催

8月25日(金)、今回で3回目となる「高校生防災ボランティアスクール」が県内5会場で開かれ、参加した県内の高校生1500人が救命方法などを真剣に学びました。

会場の一つとなった本校では、本校生徒約180人が参加し、午前中はKOBE1995代表田村勝太郎氏による講話「あの日に立ち返りいまを見つめ直す」を聞き、防災活動の大切さを再認識しました。その後自衛隊員の指導で、非常用保存食の炊き出しや本格的な野営テントの設営訓練が行われました。

また、午後は和歌山市消防局の救急隊員が心肺蘇生法などについて指導し、生徒たちは人形相手に心臓マ



【AEDを使った救命救急講習の様子】

ッサージやAEDを用いた救急救命訓練にも取り組みました。今回の取組は、予想される地震や津波などの災害の発生時に救援活動に貢献できる高校生の育成と本校生徒にとっては、特に防災意識を高めることに大いに役立ったと思われ、今後の本校の教育活動に活かしていきたいと考えています。

### - 9月の主な行事予定 -

- 1日(金) 2学期始業式
- 13日(火) 体育大会予行
- 21日(木) 体育大会
- 26日(火) 交通安全街頭指導

〒641-0036

和歌山市西浜3-6-1

和歌山県立和歌山工業高等学校

Tel 073(444)0158 Fax 073(444)2510

<http://www.wakayama-th.wakayama-c.ed.jp/>